

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

2023. 9
No.361

答えを知っている人はさらにその上をいく。(ジョン、2023)

ンを打つてやろうなどとは考えない。要するに、デッドボールを受けずに試合が終わればいい、というわけだ

リーダーはこういう姿勢であつてはならない。リーダーたる者は、仕事をやり通すだけでなく、毎日、それ以上のことを実行する必要があるのだ。(ジョン、2023)

代表取締役社長 稲垣 良次

『「人の上に立つ」ために本当に大切なこと』

ジョン・C・マクスウェル 著

右記タイトルの本を見つけました。
リーダーシップについて私共が参考になる
と同時に、イナテックとの比較で考えてみた
いと思います。

イナテックで言えば、なぜなぜを5回繰り返せ」とトヨタ生産方式で言われている」と全く同じです。そして自分の頭で考え「仮説」を立て「検証」してみる。それでもう一度「なぜだろう」と考えることなのです。

最近では、"ChatGPT"のようなものが出てきて、何も考えずに、まず検索してしまい、その通りに実行してしまう。だから、次の「なぜ、どうして」が出てこない。欧州で最近 ChatGPT 通りに誘導されて自死してしまった人がいるようです。

私が「朝令暮改」のようなことを言うことがあります。それは「より良くしたい」「今日より明日」「明日より明後日」の思いからなのです。『現状維持は後退である』その通りだと思っています。

本当に有能な人は、

タイミングを選ばない

・常に向上する

秘訣は「それはなぜだ」と自問することだ。「それはなぜだ」という問い合わせに対する

『とにかく精一杯やりさえすればいいんだ』という気持ちに陥りやすい。ホームラ

現実は5S・2Sなど手を抜くと観面に現場は乱れ汚れます。それでも諦めず、実行するしかない。そうすると現場も綺麗になり、

『管理』された状態になり、品質が向上し原価低減が出来ます。そして社員一人ひとりが成長します。その『社員の成長』こそが「イナテックの社会貢献」なのです。

・人びとを鼓舞する

非常に有能なリーダーは、高いレベルで仕事をするだけではない。彼らはまわりの人びとを鼓舞して、高いレベルで仕事をするよう働きかける。人付き合いのうまさだけを頼りに生き残る者もいるが、有能なりーダーはそうした技術に加えて、自分が率いる組織を卓越した影響力のある組織にまで引き上げるために高い力量を発揮する。(ジョン、2023)

ん(部長さん・課長さん)にデジタル写真で、何も言わず提供させて頂こうと考えております。多言は皆さんを多忙化してしまうと考へております。皆さんが気づいていただければ良いことなのです。

皆さんが当事者意識を持つて仲間と運営していくイナテックを願っています。

・勇気は、「この人についていこう」という人びとの気持ちをかき立てる

「勇気は伝染する。勇敢な人物が断固たる態度をとると、人びとの背筋はしやんとする」。誰かが勇気を示すと、それを見ていた人びとは勇気づけられるものだ。リーダーが勇気を示すと、それは人びとを鼓舞する。そして、「このリーダーについていこう」という気持ちをかき立てる。

最後に、これからは、この会社(イナテック)をどうしたら良いのか、どうすべきなのか、自分たちの頭で考えてみて下さい。

その時のポイントは

- ・苦しい時、楽な時には苦しい方を選ぶ
- ・高い目標か低い目標かの決断時には高い目標を選ぶ

これから私は皆さんの「フォロー」に徹しようと考へています。私の目で見た現場を皆さ

(ジョン、2023)

・正しい方を選ぶ

これを実践するのは、私(社長)の役目なのです。補給品の話もしかり。どんどん補給品が増殖し、以前廃棄処分した時も、「本当にこれで良いのか」との提案であった。しかし、補給在庫と製作の仕組みまで私の“力”では改革できなかつた。そして今まで、補給品ラインの撤去問題や、製作方法について問題を表に出す使命がこの私(社長)にはあるのです。誰がやるのですか。答えは『社長』です。

そのためには何が正しくて、何が出来ていなかを明確にし、正しい方向へ導くのが私(社長)の仕事なのです。全ては私の責任なのです。

そして我々は、

『人間として正しいかどうか』

一、嘘をついてはいけない

二、人に迷惑をかけてはいけない

三、正直であれ

四、欲張ってはならない

五、自分のことばかり考えてはならない

以上です。

参考文献

ジョン・C・マクスウェル(2023)

「人の上に立つ」ために本当に大切なこと

ダイヤモンド社

皆さんの頭で考え実行して下さい。結果については全て、私(社長)の責任ですから。
皆さん“苦”を楽しんで下さい。

それが皆さんの成長です。

菜根譚後集

九二

白氏云、不如放身心、冥然任天造。晁氏云、不如收身心、凝然歸寂定。放者流爲猖狂、收者入於枯寂。唯善操身心的、櫛柄在手、收放自如。

白居易は言う「身心を自由に解き放つて、深く自然のしわざのままに任せきるのがよい」と。
また、晁補之は言う「身心をきびしく取り締まって、集中して禪定に入るようにするのがよい」と。前者は解き放つ度を過ごすと氣違ひじみた行動になり、後者は取り締まる度を過ごすと干か
らびた行動になる。そこで(主体性を確立して)、身心をよく扱いこなす者だけが、しっかりと要
点を押さえて、收めるも放つも自由自在に操ることができる。

